

# 秋田工業高校の近況

秋田県立秋田工業高等学校  
校長

黒澤 光弘



## 退任のあいさつ 感謝

私ごとではありますが、38年間の教員生活を終え、令和4年3月31日をもって定年退職いたしました。最後の3年間、母校の校長として全国屈指の新校舎で、優秀な後輩達と充実した日々を送らせてもらい、充実した幸せな教員生活を終えることができました。秋田工業高校機械科に入学したこと、そしてラグビーとの出会えたこと、私の人生の礎を築いてくれた秋田工業高校とラグビーに今、大変感謝しております。また、多くの優秀な生徒・保護者の皆様・同窓生・地域の方々のご支援の賜であり、重ねて心より感謝申し上げます。

昭和59年4月、大学卒業後すぐに、母校の秋田工業高校の保健体育科の臨時講師として勤務したのが、私の教員生活のスタートでした。それ以降、母校には通算27年間もの長い間勤務させていただきました。高校在学中の3年間を含めると30年間となり、人生の半分を秋田工業にお世話になったこととなります。また、教員として母校に奉職でき、最後に校長という役職で定年を迎えることは、教師冥利に尽きることでありこの上ない幸せを感じております。

校長として母校に赴任した令和元年は、県内の同窓会各支部、県外では北海道・東京・静岡・東海・関西の各支部の同窓会にお招きいただき、多くの同窓生の方々とお目にかかりご挨拶することができました。会員の皆様の母校愛、また全国各地で日本の工業界に大きく貢献され、優秀な人材を輩出してきた秋田工業高校の歴史と伝統の重みを、多くの場面であらためて感ずることができました。その中で、「愛校心を持ち、常に夢や希望に向かって努力する生徒を育成する」こと、自分の学校を愛する心（愛校心）を育てることは、学校教育の根幹をなす極めて重要な要素であることを、同窓生の皆様より再確認させていただき、学校経営方針の中心

に位置付けさせていただきました。

令和2年3月、「新型コロナウイルス感染症」によって学校現場は、大混乱に陥りました。その後2年間、前代未聞の状況の中、生徒達は多くの犠牲を払い、挫折を味わい辛い日々を送ってきましたが、徐々に現実を受け入れ、逆に多くのことを学び気持を切り替え、御家族をはじめ多くの方々の温かいサポートもあり、一步ずつ力強く歩み続けてくれました。我々職員は、生徒が少しでも元気を取り戻してほしいという願いから、楽しみにしている学校行事は感染防止に最大限留意しながら、全て実施してまいりました。あらためて、学校行事が担ってきた教育的価値が浮き彫りになったように思われます。

コロナ渦で心配された進路指導については、国公立の合格者が過去最高となる20名（秋田大学理工学部14名、秋田県立大学5名、他）という好成績を収め、優良企業・公務員への内定者も早々と決定いたしました。「金砂健児の底力」「文武両道」を見事に体現してくれました。本当に優秀で素晴らしい後輩達であり、誇りに思っています。

学校創立120周年まで、あと3年と迫りました。これからも、「一生教師」「一生ラグビー」の志を貫き、一同窓生として母校の更なる発展のために、微力ながら貢献できればと思っております。「東京秋工会」の皆様、長い間、ご支援いただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。「東京秋工会」の更なる発展を御祈念申し上げ、退任の挨拶といたします。



不動産・建設関連事業を核に  
お客様が求めるビジネス&ライフを  
サポートします。

合同会社 アーバン・コンサルタント

代表 三平 俊悦 (昭和39年建築科卒)  
Shunetsu Mihira

〒216-0035 川崎市宮前区馬綱6-26-28 TEL/FAX.044-852-0891  
携帯.090-6930-1389 E-mail shunmihira1945@gmail.com

宅地建物取引士・管理業務主任者・二級建築士・リスクマネジメント協会RMF資格